六二 受信 〇〇一五二 翻訳始 〇九三〇二 翻訳了 一一三〇 電〇〇七四九 作機[redacted] 〇

昭和廿年六月四日

（発）東通・聯合艦隊戸・支那方面艦隊戸
（受）九特根▷
（着）海警戸・高警戸・香港方面根▷・廈門方面根▷

機密第〇一一五〇一番電

宛 大海参一部 大海参三部長
通報 支那方面艦隊参謀 廣東警備隊

一、情報（廈門島西部）米軍ノ廣州灣方面ニ於ケル行動活潑化セリ
(イ)水東五月一日以降米飛行機五ヲ以テ技術員ヲ揚陸既ニ四〇名ニ達シ五月九日頃ヨリ潜水艦水上艦艇ヲ以テ糧食補給市民ハ米軍ノ上陸ヲ豫期シ疎開開始

午八〇四 呂一Bラ一八（七四六五KC）上海 林（久保田）(一)

0194

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0195

(ロ)比島米根據地位ニ東部飛行場設置附近一帶ヲ利用一日二〇—[illegible]軍用資材ヲ搭載着陸シアリ

二、二十九日敵潜水艦東沙島ニ上陸ヲ企圖セルモ此ヲ撃退セリ

三、二十五日一一三六B—二四一南朋島爆撃戰果被害ナシ。

0196

六一 受信 八四六
二 訳始 〇四一五 訳了 〇九〇四、電〇〇七四 作戦ノ

発 父通

着 父根 戦闘概報 着信略符

株宏第〇二六五二番電

父島特根戦斗概報

一、〇八〇九ヨリ二〇分間艦上機一二機来襲飛行場、二見湾
沿岸及兄島ニ銃爆撃ヲ受ク

二、敵機ノ哨戒状況ハ一部陸軍機ノ硫黄島攻撃ニ関聯
アラントモ左ノ通リ最近稍ニ見ル厳重サヲ示シタリ
(イ)午前B—二四 四回北上何レモ午後南下
(ロ)夜間ヨリ一日早朝ニ亘リ八回何レモ執拗ニ周辺ヲ
旋回

三、戦果被害ナシ。

適 三九八 呂一Bヲ十八 KC 父通

軍令部 年六月四日

582

0197

昭和廿年六月四日

六二

受信 一五一七　譯始 一七四〇　譯了 一八三五　電〇〇九三三

航作　本檢　〇

（發）父島通信隊

（宛）父島根戰鬪概報着信艦所

機密第〇二一三一六番電

父根戰鬪概報（六月一日）

一、〇八〇〇ヨリ二十分間P―五一　八機來襲飛行場及二見灣口附近ヲ銃爆擊〇八四五及一一三五ノ二回雨下ノB―二九各一機中央山地及（？）東方海面ニ燒夷彈投下

二、早朝及晝間各四回及夜間二回哨戒機ヲ探知セリ

敵大編隊〇五〇〇頃北上一二〇〇頃南下及一五〇〇頃北西進スルヲ電測セリ

三、戰果被害ナシ。

通九〇一　自二一■ラ十八（七九七〇KC）七FGE放　長谷川（吉川）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

六

二　受信二三二四五　譯了〇六〇〇　電〇〇一二一七　作概〇
三　譯始〇五一七　〇〇一二一八

（暗）佐　鎮　尸

（暗）大海参一部・山　秘局

（暗）海軍総隊司令部・第五特攻戦隊▷・一二航戦▷
第三特攻戦隊▷・鳴尾丸

機密第〇二一六二四番電　二分ノ一ノ二

航空部隊ヨリ特攻攻撃上見張力増強ノ要望アリ第三五突撃隊ノ編成
トモ関聯挺進見張隊ヲ左ノ通配備ノコトト致度ニ付増強配備方然ル
ベク御取計ハレ度
三二突撃隊見張隊一隊隠密監視所一四箇所（薩摩半島西岸及上島
六箇所同南口三箇所大隅南岸三箇所種子島二箇所
二、三三、突撃隊見張隊一隊隠密監視所八箇所（有明湾岸四箇所大

通一一〇四七七　呂一ヨケ一二（ロ）佐通　永井（上、野）

昭和廿年六月四日

584

1

島鵜戸埼・鼻宮崎南方高地）

三、?突撃隊見張隊一隊隣密監視所?箇所（廣瀬高鍋北方美々津細島附近土々呂北方）。

0020

大三　受信一八一一 発始二〇三五　発丁二一三〇　電〇一五八〇　航作 機本〇

昭和十七年六月四日

● 二〇聯合航空隊 P

● 岡崎航空隊・第二岡崎航空隊・土浦航空隊

● 東通・横通・第三岡崎航空隊

通報先　横須賀鎮守府参謀長　第三航空艦隊参謀長　航空本部総務部長　横須賀施設部長

機密第〇三一一四七番電

第二十聯合航空隊電令作第三五號

一、第一岡崎航空隊　第二岡崎航空隊及土浦航空隊司令ハ左ニ依リ兵員ヲ岡崎基地ニ派遣作戰用機材秘匿所（彩雲用約二〇機分天山用約一〇機分）及誘導路造成ニ協力セシムベシ土浦航空隊九〇〇名第一岡崎航空隊第二岡崎航空隊各二五〇名

二、第二十聯合航空隊電令作第三三號ヲ設定（第一岡崎航空隊第一岡崎航空隊附聯）

三、土浦航空隊練習生一五〇〇ノ三澤移轉ハ之ヲ取止ム。

通一六二一　呂一三ケ十二（一一二六10）横通　富永（牛澤）

585

0201

人

昭和十九年六月四日

六三　受信 一七一五　訳始 一九〇〇　訳了 一九三七　電 〇一五二五 〇一五二六　作機〇

(作)

発 呉防戦

宛 呉防備戦隊

報 海上護衛総司令部・呉鎮守府・七艦隊各司令

機密第〇三一三五〇番電　二分ノ一、二

信電令作第一八號

一、三號八千代丸・一親船丸・寿久丸・精良丸ハ四日呉発宇部ニ進出當分ノ間奥谷部隊ニ合同同大佐ノ指揮ヲ承クベシ

二、二號金比羅丸一〇號大黒丸五鹿島丸海和丸ハ四日呉発宇部沖ニ進出檜驅逐艦長ノ指揮ヲ承クベシ

三、檜驅逐艦長ハ宇部方面進出中ノ掃海舟艇ノ夜間激撃配備ニ關シ之ヲ區處スベシ

四、第五海幸丸ハ四日呉発當分ノ間國司部隊ニ合同同隊長ノ指揮ヲ受クベシ。

通 一五六九 一五八〇　天二日ケ一二(日)　一呉通　仲[illegible]　村尾(渡辺)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和廿年六月七日

六

六
七

受信二〇五三　譯了〇三五八　航作　本機〇
譯始〇〇三八　電〇三一五二

（發）ヤップ航空基地

（宛）五基地航空部隊戰鬪概報着信竝所

（通）三〇根Ｐ

機密第〇三一六四五番電

軍極秘

戰鬪概報（六月三日）

一、〇六一五－〇七一五ＳＢ二〇一　四機九〇度ヨリ來襲ヤップ島投彈後九〇度ニ去ル戰果被害ナシ其ノ他目視飛翔ＰＢＭ－一　二機ダグラス一機

二、一四〇〇東三米晴全雲量六卷層雲下層雲量三　積雲雲高一二〇〇米雲向東視界八浬・

記三四五三　（ロ）テヨヲ十四（七八七五〇）三通　（四六ノ六）

587

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0203

六八

六五

昭和廿年六月七日 作戦 参本

受信 一七三〇 訳了 一〇〇〇 電 一二八五八
訳始 〇六二〇

（宛） 〇 報 ト

着 三日張戦斗概報着情報所

発 多摩要塞隊P・書還部隊P

宛 四六戦者、ヤップ航空基地

機密第〇五〇九三八番電 二〇〇〇

三日張戦斗概報（六月三日）

一、PP附近行動敵艦艇

(イ) 最近PP附近ニ大型輸送船ノ出入頻繁ナルハ特ニ目立ツ

(ロ) 〇八〇〇大型輸送船一隻護衛艦ヘ（ペリリュー）出港北東ニ向フ

(ハ) 一二〇〇大型輸送船一ウルタベル島灯台ノ九〇度三五粁ペリリュー下ニ向フ

(ニ) 一三〇〇駆逐艦八ハ油槽船ヘ（八〇〇〇総噸満載）ヲ護衛航コッソル水道東口出港

二、視界内敵艦艇碇泊状況

(イ) コッソル水道小型輸送船二 大型油槽船一 小型[illegible]船 小艦艇七

(ロ) ペリリュー沖 大型輸送船一 掃海艇五 [illegible]艇八〇

（西カロリン情報課設 本ハ第三一分ノ一二号訳了）

588

0204

六四 受信二一二三五、訳了一二五五 電〇二一六五 作戦〇航本
訳始一二〇〇 参本

緊急

着 五二碇海隊ヘ

發 共符

機密第〇四一九〇五番電

發 南鳥島守備部隊指揮官

戰斗概報（六月四日）

一、〇四〇〇 B−24 一三機来襲 高度約三、三〇〇米 二三一〇〇瓩乃至六〇〇瓩程度爆彈多数投彈 内滑走路被彈約八〇發 一〇五〇〇 PBY 一機近接セルモ投彈セズ

二、發射彈数（残彈数）十二糎七 高角砲 一五（六四五） 八糎 高角砲 六（二五一四）

三、戰果ナシ

四、被害 十三粍機銃（聯装）一基直撃使用不能 大発三隻

通 二二〇三 呂13ラ十八（一二六・七〇） 宿直 長谷川（川口）

589

小発一隻小破修理可能幕舎大破二
戦死海軍下士官一名陸軍兵二名重傷海軍下士官一
陸軍将校一兵一。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

作

六五

受信 一四五八　譯了 一六三六　電〇二五七〇番　作概。

譯始 一六一五　航本

着

(發) 五一警備隊

千島防衛部隊戦闘概報着信照許

機密第〇四一九二三番電　二分ノ一

第五二警備部隊戦闘概報第一号 武蔵地区(六月四日)

一、第一次〇九四〇 B-二四 一機 二七〇度 高度三〇〇〇 ニテ侵入

企図セルヲ發見直ニ阻止射撃ヲ行フ ラズ崎 迂回摺鉢湾

ニ避退セシメタリ 第二次一〇四〇 電探五五度七五粁敵編隊捕

捉。

(電信課註　本電二分ノ二未着)

通二六二九　夫二日午十二 (B) 大湊通　加賀屋(於通)

昭和十九年六月六日

590

0207

昭和十九年六月七日

六

六五。受信一六一〇〇 譯了〇九三〇 電〇二九〇四 參作 本概
譯始〇八四〇

（圏）三〇根

（宛）三〇根戰鬪概報着信艦所・五航空艦隊Ｆ・先遣部隊Ｆ
（報）四六警備隊。ヤップ航空基地

機密第〇四一九五二番電 二分ノ一

戰鬪概報（六月四日）

一、ＰＰ附近行動敵艦艇情況並ニコスソル水道碇泊敵艦船情況
雨天ニテ視界不良ノ為不明

二、ＰＰＰ周邊碇泊艦艇大輸送船一隻掃海艇二隻驅潜艇二隻

三、Ｂ二九、三機一九〇〇－一九四五夜戰三本日〇六三〇－一七五〇Ｆ

四、Ｕ－一、四機ＴＢＦ－一、三機計一〇機ＰＰ附近ニ來襲銃爆撃。

（電信課註 本電二分ノ二既配布）

通二六九八 呂二Ｂラ一四（一五七一〇KC）三通 明比（小澤綫）

591

昭和十九年六月

六四

受信 〇六五六　譯了 一〇三〇　電 〇二八八七　參作 本機
譯始 〇八五〇

暗號 軍極秘

作

發 三〇根 P

着 三〇根戰鬪概報着信艦所・五航空艦隊P・先遣部隊P
通 四六警備隊・ヤップ航空基地

機密第〇四一九五二番電　二分ノ二

四 敵機PPP發着

(イ) 昨三日一六〇〇以後輸送機一・〇度七・九〇度ヨリ着一・二七〇度ヘ發大型機一・一八〇度ヨリ着（三日計輸送機三五着七發大型機一着）

(ロ) 本四日一六〇〇迄輸送機七・〇度七・二七〇度ヘ發二三・〇度二・九〇度四・二七〇度ヨリ着。

（電信課註　本電二分ノ一未着）

二六九九　呂一Bラ一四（一五七一〇〇〇）三通　石垣（小澤讓）

592

0209

六五

受信〇二三七　譯了〇五四〇　電〇二二六二　作戦〇

譯始〇三五〇

緊急

二五根戰鬪概報着信艦所・三南遣艦隊Ｐ・三南遣艦隊各Ｐ

總無線艦所用共通符號

機密第〇四二〇二五番電

二九警備隊戰鬪概報　四日

一、タレバ出港〇七〇〇大型Ｔ一　〇Ｈ二　針路東自一二〇〇至一四〇〇大型Ｔ五　〇一　Ｄ一三　〇Ｈ四・海虎二三　大型上陸一

用舟艇三八　舟艇二針路北入港Ｔ大型一小型二（熱レモ半載）

大型油槽船一（滿載）碇泊一一〇〇Ｔ大型一五　中型九　小型

四　特務艦一　〇一　Ｄ二〇　〇Ｈ一二　海虎四一　大型上陸

用舟艇三二　舟艇二〇

二、モロタイ發進機針路北乃至西大型三八　中型二七　小型四計六

九。

通二四一六　呂一ヒラ十八（（六一二二・五ＥＣ）二一通

高橋（飯田）

593

昭和十九年六月六日

0210

六　八七　受信二二〇五　譯了〇三〇〇　電〇三六七九　作機〇
譯始〇一四〇　航本

至急　（発）鳴尾航空基地

（宛）二七航戦

（報）海軍総隊ロ。天航空部隊指揮官。阪警

軍極秘

機密第〇五一〇五一番電　二分ノ二

三、被害　未帰還雷電一機零戦二機（海上ニ落下傘降下ノ算大ナリ）
被弾（修理中）其ノ他零戦一機陸上ニ落下傘降下搭乗員軽傷
被弾機零戦五機月光一機。

（電信課註　本電二分ノ一未着）

通三九八三　呂一B分一二（B）阪警　内田（小澤繁）

（昭和廿年六月八日）

594

六五 受信 一七〇五 譯了 一八五〇 電自 〇三六〇四 作 機〇
譯始 一七三〇 電至 〇三六〇七

昭和廿年貳月六日

至急 ㊙ 八丈島警備隊

㊙ 東京通信隊

㊙ 横通・木更津航空基地・関東航空隊

機密第〇五一一二七番電 四分ノ一、二、三、四

発 軍務局長 軍令部第一部長

通報 人事局長 横須賀人事部長 第三AF参謀長
横須賀鎮守府 横須賀鎮守府参謀長

要ニ関東航空隊八丈島派遣隊ノ当隊編入ノ件ナルヤ当方ニテハ同空司令其ノ他ノ言明並ニ中央ノ内意ニ基キ既ニ編入合体ヲ了シ諸般ノ編制モ完成シ爾来一箇月有半ニ亘リ作戦計画ノ下全員一体孜々辛苦戦備ノ充実ニ邁進シテソノ成果ヲ見タリ

通二七〇一、二六七、二六六、二六七七 呂一 [illegible]二(一二六LO)

595

然ルニ戰局特ニ沖繩ヨリ本島ニ移行セントスル此ノ急迫機ニ及ビ突如當隊ヨリ特ニ現地ニ於キ訓練セル當隊現有兵力ノ精ナル士官ヲ大部トシ兵員二七〇名（内陸戰兵力二五〇名）ヲ引拔カレントス抑〻當隊陸戰配備ハ進駐以來陸軍部隊ノ配備ニ當置其ノ要點ヲ分擔セシメラレアルト「コロ」震洋回天等ノ進駐以來ハ其ノ基地防備トモ關聯決定セルモノニシテ右兵力ヲ引拔ハ直ニ海陸兩面ノ防備力ニ大ナル缺陥ヲ生ズルモノナリ

而シテ當隊ハ曩ニ整備員兵器員戰力化ノ必要モアリ陸戰兵力約八〇〇名不足ヲ感ジ之ガ増強ヲ要請セル所偶〻遅レル關東航空隊派遣隊（内陸戰兵力約三〇〇名トシ）ノ編入ニ利用セラレタル外更ニ約三〇〇名ヲ増員セラレタルモノニシテ如此島陸戰兵力ノ引拔キハ眞ニ忍ビ難キモノアリ一昨三夜ノ現局ニ處シ勿論警ノ獨自アランモ現地ノ實情ヲ御諒察ノ上補給整備員三〇名ノミノ引拔グニ止メ然ルベク手配ス。

昭和十九年六月六日

六 五

受信 一四五七
譯始 一六三〇 譯了 一七二五 電〇二五〇三 作 概 〇

發 父 通

着 父島方面特根戰闘概報着信艦所

機密第〇五一二五八番電

父島根據地隊戰闘概報(六月四日)

一〇八二二ヨリ三〇分間ヌ一五一 一一機來襲夜明山及兄島ヲ銃爆撃

時限爆彈及ロケット砲ヲ使用セリ晝夜間一回哨戒機ヲ探知セリ

二戰果ナシ

三被害戰死二重傷一司令吉井中佐(打撲症全治迄ニ約一ケ月ヲ要ス)

輕傷二。

通二六五滿 ロ一ヨラ一八(一二六KC)横放 小森(久保田)

596

六
六
受信〇〇一〇
譯始〇七三〇
譯了〇八三七
電〇〇二八四〇
〇〇二八四一
作航 概 本〇（昭和廿年六月六日）

㊙ 四 通

㊙ 東 通・一〇 通

機密第〇五一七二一番電 二分ノ一、二

宛 第十方面艦隊司令長官

通報 聯合艦隊司令長官 大海參一部長

第二十七特別根據地隊機密第〇四一四〇三番電轉電

戰闘概報（五月）

一、來襲敵機數延一一三〇（内カイリウ島爆擊九六 十三日）

二、五月上旬 巡洋艦二驅逐艦六掃海艇四驅潜艇六魚雷艇（？）二出現砲銃擊ヲ受ク下旬驅逐艦二魚雷艇四ノ外出現セズ

右期間米軍機ノ來襲中絶二十七日以降出現中

三、海岸方面ノ敵ハ五月二十五日「ウエワク」東方三五粁ニ進出我ガ方

通 二九一七 二九三七 呂一Bラ一八（五一二五KC）四通 片山（小澤綾） (一)

0214

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

兩飛行場ヲ失ヘリ南方山中方面ハ大ナル變化ナシ

四「マツクリツク」ニ出擊中ノ海軍部隊ハ四月下旬撤收ヲ命ゼラレ五月中旬「エンボカンボヤ」ニ復歸邀擊配備ニ就ケリ

五　五月中ノ損害一一二。

0216

昭和廿年六月七日

六 受信 一六一五五 譯了 一八一〇 電 〇〇三〇八八 作 概 〇
六 譯始 一七〇五五 電 〇三〇八九 參 本

作

發 三〇根 ▷

宛 三〇根戰闘概報着信艦所・先遣部隊ト

通 四六警備隊・ヤップ航空基地

機密第〇五一八四三番電　二分ノ一、二

三〇根戰闘概報（六月五日）

一、PP附近行動敵艦艇〇六一五大型輸送船一（七〇〇〇噸級普通）コスソル水道東口出港

二、視界内敵艦艇碇泊狀況

(イ)コスソル水道小型輸送船二大型油槽船一（小型油槽船一）小艦艇八

(ロ)PPP周邊掃海艇三驅潜艇二

三、昨四日一九〇〇〜二三一〇敵夜戰三本日〇九四五〜一五五〇P四U

(1)一六機TBF〜一〇〜一二機PP附近ニ來襲銃爆撃

四、敵機PPP發着本日一六〇〇迄輸送機五機九〇度六〇度ヨリ着二

通 三三二四五 三二二四六 呂一 B ラ 十四（一五七一〇四）三 通 鈴木 野木（増田）

(1)

598

機一八〇度ヘ一機一一〇度ヘ一機九〇度ヘ發B一二四　一機六〇度ヘ發〇九四五ヨリ約二時間ニ亘リウルクタベル燈臺ノ西方向ヨリ敵重爆撃機航過敵掃海艇マラムルト島及アラカベサン島ニ對シ砲撃被害ナシ。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

六六

受信〇〇二一一〇 訳始〇〇二一五 訳了〇三二五 電〇二七一二 作 総 599

緊急

共 符

宛 二五根戦闘概報着信先所・三南遣艦隊F・三南遣隊各F

機密第〇五二〇四六番電

二九警備隊戦闘概報 五日

「タルバ」出港〇八〇〇中型輸送船一 一四三〇駆逐艦一 一八〇〇小型輸送船一針路東自一六〇〇至一八〇〇輸送船大型四中型一小型二駆逐艦七 海上トラック一二大型上陸用舟艇八針路北入港輸送船大型二中型二（孰レモ満載）駆逐艦二碇泊一五〇〇輸送船大型一一中型六小型五病院船一駆逐艦五駆潜艇一一魚雷艇七海虎一七大型上陸用舟艇二三舟艇二〇 一〇〇〇駆潜艇一トベロ沖砲撃戦果確認不明

「ホロタ」発進機針路北西大型三九中型二〇飛行艇一小型二計六二

通二九三四 昌一コツ十八（一一三一、五〇〇）二十一通 大石（総一）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

六六

電〇三三一五　呉、海・参本

昭和廿年六月八日

緊急

(親)共

着　海上護衛総部隊・呉通信隊

報　大海参一部・軍務局・運輸本部・参謀本部・六艦隊戸
海軍総隊戸・艦本二部二課・支那方面艦隊戸・海運総監部
第一総軍司令部

宛　第二総軍司令部　船舶司令部

情報
極秘

作

機密第〇五二二三四番電

GEB機雷情報第四四號

(一)二十八日敵機雷敷設ニヨル門司港内航泊禁区域中三日十一番浮標ヲ
通ズル南北線以東海域ノ航泊禁止解除

(二)四日和泉灘第二五三四航路〇四間略掃海終了同航路ノ航行禁止解除
但シ和田岬燈臺ノ一八五度一三三〇米ニ掃海浮標設置神戸入港又ハ
通航船舶ハ同浮標ヲ南側ニ見テ神戸港第二航路ニ入ルヲ可トス

通〇六一〇(一)ー　(六二B ケ十二)

600

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0220

（三）四日關門西口北九州水道ヲＰＱ及Ｒ（白洲燈臺ノ二六七度一一八〇〇米）ノ連結線ノ南側六〇〇米ニ延長ス。

(2)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0221

六、七　受信一九〇〇二　譯了二一四〇　電〇三六八〇、作戦〇
譯始二〇〇〇二　〇三六八一　航本

海南警戸

宛 支那方面艦隊戸
報 東通・高通・二遣支艦隊戸

機密第〇五二二五七番電　五分ノ一、三

海南部隊戦闘概報第一二號（五月）
一、島内敵匪討伐ノ綜合戦果
(イ)戦果射刺殺五八二俘虜五五投降歸順一〇鹵獲品小銃四六獵銃二四
拳銃一六（我克死傷）二
(ロ)我ガ方ノ損害戦死士官一下士官五兵八巡警二中破機關車一炎上貨（以下五分ノ三）
物自動車三破損貨物自動車六
(ハ)來襲延機數（同數）B－二九、四〇（三七）B－二四、八一（
七三）PB四Y－二、四三（四〇）PBM一機（二）B－二五（
四機（三）P－三八、四（四）不詳機二一（一七）計一九四（
一七五　同）

電信課註本電五分ノ三四五未着）
（通三七一四。三九〇九ノ呂一B一二）
（五一〇三〇七）（一四九三〇）上陸（加賀）（小澤滋）

601

昭和十九年六月八日

昭和十三年六月拾[illegible]日

六八

受信 一八、一〇　翻譯始 二〇、三〇　譯了 二三、三〇　電 〇四三三九　航作 本職〇

海次尸

支那方面艦隊尸

東遣・高通　遣支艦隊尸

機密第〇五二二五七番電　五分ノ四

三、所見 (イ)現戰局ノ影響並ニ外敵邀擊作戰準備ニ依リ討伐回數減少等ニ基キ敵匪ノ謀略宣傳工作ハ依然活潑ニシテ中國協力團體臺灣籍民補助兵力ノ奔敵發放事件三七回（延一二〇名）ハ討伐强化ニヨリ前月ニ比シ其ノ數ヲ激減セリ。

（電信課註　本電五分ノ一、二、三既配布五分ノ五未着）

通信四〇〇　呂一〇分十二（一三五二〇四〇）高通　原（小澤ま）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和廿年六月八日

六八七 受信〇二一三八 譯始〇四〇〇 譯了〇五三〇 電〇三六八八 作業〇〇〇 航本

至急 （傍）

（宛）旅順方面根▷

（機）鎮 警 尸

（発）第一護衛艦隊・黄海方面護衛部隊
九〇一空・青島方面根▷

機密第〇六〇一〇二番電　二分ノ二

三、五日〇七二〇水偵旅順ノ八八度十八浬ニ於テ敵潜探知ノ報ニ依リ艦艇ヲ協同掃蕩セシモ得ル所ナシ更ニ青島派遣機ヲ加ヘ磁探機五機ヲ以テ五日午後索敵実施平島南方海面ヲ六日黎明三機ヲ以テ海洋島以西索敵セシモ敵情ヲ得ズ艦艇ハ臨投補給ノ上待機水偵ハ現配備ニテ更ニ黎明薄暮哨戒索敵ヲ続行ノ予定。

（電信課註　本電二分ノ一未着）

通三九六九　呂一一ケ十二（B）佐世保　伊藤（猪狩）

六六　受信〇八廿九　譯了一一〇〇　電日二九四一　作航タ

緊急　譯始〇九三〇　航本

昭和廿年六月廿日

(作)　(着)　(報)　(発)

天航空部隊指揮官
東通、八基地航空部隊指揮官

機密第〇六〇七一五番電

通報　海上護衛總司令部　大本営海軍参謀部

GB電令作第七七号

GF電令作第六〇九号第一項ニ依ルGEB第一攻撃隊
及GF電令作第六三二号第二項ニ依ル八FGB（GB
電令作第七〇号ニ依ル元山空特攻搭乗員ヲ除ク）ノ各
TFB残留兵力ニ對スルFB指揮官ノ作戦指揮ヲ解ク。

通三〇八五　呈一B 一一二 (B) GF

山（山中）

604

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和廿年六月七日

六　六　受信 一一〇〇　訳了 一五〇一　電 〇三〇〇二 作戦〇
　　　　発信 一二〇七　　　　　　　　 〇三〇〇三 航本

至急

発　岩川空基地

着　天航空部隊作戦命令着信者所・藤枝空基地

機密第〇六〇八〇五番電　二分ノ一

戦闘詳報第二九号

一、艦爆二三〇〇発進零戦五機〇二四五発進予定ノ哨戒ヲ実施零戦一機〇三三〇頃都井崎ノ一四〇度五浬ニ於テ敵潜一ヲ発見銃撃セルモ効果不明〇五二五迄ニ全機降着（内天候不良ノ為引返セルモノ彗星七機零戦四機）種子島附近天候暴雲全九雲高三〇〇—三〇〇〇視界二浬

二、零戦一機離陸時大破彗星一降着時大破零戦一機天候不良ノ為帰途〇四〇五不時着小破。

（東通註　本電訳作成ノ為遅延ス）

三一一一　国一日ケ十二（七八七五KC）一KFGB放　鹿屋（五島

三一二四

605

0225

0226

大[illegible] 大 話受〇九五三　　　第〇三八四二 作戦〇

●丸輸送指揮官　　　● [illegible] [illegible] 尸

● 先遣・海上護衛隊尸

暗號重極秘 機密第〇六〇八三〇番電

[illegible]丸輸送指揮官以下乗員一同周到ナル計畫ト果敢ナル實施トニ依リ各種ノ困難ヲ克服シテ見事ニ挺身輸送任務ヲ達成セルハ大イニ可ナリ。

第三一〇八　呂一日

仙波（石井）

606

六

六受信二三三六　七譯了〇七三〇　電〇三五一二　作戰〇

七譯始〇四一〇　臨本

（作）

（緊）揚根ト

支那方面艦隊ト

總長・海軍總隊ト・上海根ト・海南警ト

二遣支艦隊ト・青島根ト

機密第〇六〇五一番電

揚根戰鬪概報第一四號（六月五日）

一、一一五八　P一六八　一機　武漢偵察

二、一二〇八　P一五二　六機　鏡要　被害ナシ

三、一三三一　P一五二　五機　九江來襲

四、一四二四　P一五一　四機　武穴來襲後石灰窰鏡爆票　特設砲

五、一五四〇　P一六一　一機　武漢來襲　一隻航行不能

六、揚子江部隊戰鬪概報第一三號中（二）石灰窰ヲ九江ニ改ム

適三四八九　呂日ケ十二（四〇四五KC）上陸

福島（譯）

607

一　昭和十三年六月八日

六六　受信一九一三　譯始二〇一五　譯了二〇四三　電〇三一一四　航作　本職〇

緊急

（佾）

（轉）佐鎮各部隊指揮官　（通）佐鎮　尸

（通）天一號作戰部隊各　⊳

機密第〇六一七一五番電

佐鎮信電令作一三八號

一、情報ニ依レバ敵機動部隊奄美大島ニ侵入セル算アリ

二、第九五一航空隊司令官ハ本六日夜「オ」哨區哨戒ヲ左ノ外司令官所定シ強化スベシ

(イ)哨戒區域佐多岬ノ二四〇度線以北（同線以南五AF實施）

(ロ)尖端到着時刻〇三〇〇。

通三三四六　天二Bケ十二（九八一〇〇）佐三放　牟濃（森田）

昭和十九年六月…日

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0229

人

昭和十九年六月八日

受信〇二一五 訳了〇九一五 電〇三四一一 作機〇〇航本
訳報〇四五〇

大至急

作 着 報

東京通信隊 ㊙ 支那方面艦隊司令部

三一航戦司令・一〇航空艦隊司令・青根司令・青島空

機密第〇六一八一五番電

宛 大海参一部長 航空本部長 軍務局長

青島航空隊ニ関シテハ支那方面艦隊機密第二四一四三六番電(三月)ニ就テハ全機中支方面ニ於ケル九九式機上作業練習機特攻ノ希望薄キ現状ニ於テハ戦局ノ推移ニ応ジ青島航空隊白菊特別攻撃隊ヲ当方面流用ヲモ考慮シ青島航空隊ノ当方面艦隊編入ニ関シ特ニ配慮ヲ得度

通三五五三 呂二日午一一(七四〇〇五KC)上海 坂本(常見)

603

0230

六七　受信一一二五三　譯始一五〇一　譯了一六二〇　〇三四七一　作機〇・航本

昭和廿年六月八日

緊急

發　一八警備隊

610

宛　二三根戰鬪概報着信諸所

機密第〇六二一一二三番電

暗號軍極秘

戰鬪概報（六月六日）

一、〇八四〇B－二四　六機北東ヨリ侵入「ビッント」各地旋回「マンゲット」飛行場方面ヲ偵察三回ニ亘リ投彈一一〇〇東ニ去ル　被害中砲一壹指揮所至近彈ニ依リ壕戰死下士官一　輕傷兵一飛行場滑走路二發一誘導路三發命中復舊ニ數日ヲ要スル見込

二、一三四七B－二四　一機「タリセ」島南西ヨリ東ニ通過ス

三、一八〇〇大艇一機「タリセ」島北西B－二四　三何レモ通過ス。

四三七〇九　呂一Bラ十八（一八三六七、五KC）二一通

大内（川口）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

0231

六七受信一一五〇　譯了一四三〇　電目三四三六　発病(〇)
譯始一二〇〇　電至三四三九

(青)(報)

第二氷川丸
東通、啓通、舞通、一〇通、ツドウモ空基地

(発)
共
竹村

機密第〇六二三一五番電　四分ノ一、二、三、四

発　第十一特別根拠地隊
通報　醫務局長、舞鶴病院長、佐世保病院長、第百一病院長
第一南遣艦隊軍医長、印支空司令

當方面航空基地九ヶ所増設中ナルモ新設基地ニ対スル治療用備品類供給ノ見込全ク無シ現地入手困難ナリ左記治療品ハ貴船ヨリ供給方取計ヲ得度
アクリノール二〇〇〇　阿片　アルカロイド注五〇〇　阿片アルカロイド　スコポラミン注三〇〇　塩酸トロパコカイン注二〇〇　カンフル剤

通三六三　三六三五
三六八八、三六六三

呂一月ケナ二（一七五九〇Kc）十通
中野、中田、今村、長谷川（原）

611

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

注一〇〇〇 オキシドール二〇〇〇〇瓦 塩化カルシウム百 注射用針五〇〇〇
バルビタール一〇〇〇 合々剤甲一〇〇〇〇 合々剤乙五〇〇〇 吸着唾
酸製剤四〇〇〇 消化剤三 スルファミン製剤二〇〇〇〇 ピラビタ
ール二〇〇〇 液状酸五〇 防殺虫剤一〇〇 食塩七三八、昇汞二〇 アンプ
エリメツ三〇〇 歯口腔外科器一(骨折巻附用銅線貫通器一 鋼
線若干支射鐘一〇回 針器一〇 銀探子二〇 縫合針丸角中小
二〇〇 注射針(腰麻用二〇、先二四〇) 注射筒(両枚式(一〇〇瓩)三〇
安全針一二〇〇 エックス線二四〇 歯科用エックス線フイルム一箱
バイオレジン(液及粉末)五箱 金属用鑪濁整形外科療用
図書。

(東通註 吸着唾酸製剤ハ三語重複受信シアリ)

海軍

(2)